

なるため、モチベーションの管理をより気をつけなくてはなりません。

市長…うまく使えば、授業の幅が広がりそうですね。オンラインで学習塾をさされていたとのことですが、桑原さんが大学に入学されたときは、オンラインという手法はあまりなかったように思います。きつかけはどのようなことだったのですか。

桑原…当時としては、かなり珍しい形態だったと思います。京都大学に合格してから入学まで少し時間があつたので、群馬の高校生に家庭教師として、勉強を教えてくださいました。私が京都に引越してからも継続して教えてほしいと頼まれ、オンラインで指導しようと思ったのがきっかけです。実際にやってみると、生徒さんは移動時間も不要になりますし、夜遅い時間でも授業ができます。そのほか対面よりも効率が良い部分もたくさんあり、オンライン指導の可能性を感じました。

市長…対面で教える場合と、オンラインで教える場合の両方を経験されていると思いますが、オンラインで教える



際に気をつけていることはありますか。

桑原…教えたことが、生徒にしっかりと伝わっているか確認することを大切にしています。質問を投げかけたりしながら、理解しているかどうかを確認しています。

市長…画面越しでも、理解できているかどうか、丁寧に確認しながら進めていくことが大切ですね。安中市でも、今年度からGIGAスクールに取り組んでいるので、子どもたちの勉強する環境を少しでも良いものにできるように頑張っていきます。

■夢中になれること

市長…私も、ときどき「何か夢中になれることを持とう」と話をするところがあるのですが、夢中になれることの見つけ方にアドバイスをいただけますか。

桑原…「途中でやめてもいいや」と考えることですね。興味を持ったことは、とにかく始めてみる、やめたらやめたで良いのではないかと考えています。いろいろなことをする中で、夢中になれるものが見つかるのではないのでしょうか。

市長…やめることをおそれずに、少しでも興味があつたら始めてみるということですね。いろいろなことにチャレンジしてほしいと思いますが、時には、努力が必要なこともあると思います。

桑原…一般的に努力という言葉には「苦しい、辛い」というマイナスイメージが強いと思います。それよりも私は、「楽しい」とか「ワクワクする」という感情の方が、いろいろなおことに挑戦するうえで重要だと思っています。挑戦を成功させるために必要なのは、そういったプラスの感情と、「習慣化する力」です。毎日、何時になったらどこへ行く、何をするなど決めておき、三日坊主でも良いという軽い気持ちで、習慣化に取り組んでほしいです。

市長…ふるさと安中の受験を控える学

生たちにメッセージをいただけますか。

桑原…1月の1か月は、受験に向けて全力で、必死に取り組んでもらいたいです。この1か月を頑張ることができると、頑張ることができると思っています。たとえ結果がどのようなものになっても、「頑張れた」ということは素晴らしい経験として、自分の中に残るはず

市長…人生の中では大事なタイミングがありますが、受験生は今がその時ですね。頑張ったことはこれからの自分の栄養になりますね。

■ふるさと安中への希望

市長…今後、ふるさと安中にどのようなまちになってほしいですか。

桑原…私が安中市に住んでいたときは、何事にもチャレンジしやすい環境があつたと思っています。その結果、今では名人位につくことができました。これからも、多くの人がチャレンジしやすい環境づくりを、さらに進めてほしいと思います。

市長…これからも子どもたちを応援していきます。本日はお忙しい中、ありがとうございます。ますますのご活躍を期待しています。

桑原…ありがとうございました。